

# 現代音楽に身体で触れる

## ワークショップ

—自分の声と身体でいろいろな音を出してみよう—

### 音楽と接する方法の新たな可能性を一緒に探ってみませんか？

- 自分の声と身体を使って現代音楽のいろいろな音を出す体験をします。体験をする前とした後で音楽の聴こえ方は変わるでしょうか？一緒に試してみましょう。
- ゲスト：ソプラノ歌手  
藤田 果玲

- 企画運営、モデレーター：堀内 彩虹（早稲田大学）
- 協力：長久手市
- 後援：桐朋学園音楽部門同窓会

2024年8月17日（土）

15:00 開始（14:30 開場）

※17:00終了予定

場所：長久手市文化の家  
美術室

（〒480-1166 愛知県長久手市野田農201番地）

会場までのアクセス



- 参加費：1人1,000円  
当日、現金かPayPayでお支払い（未就学児は無料）

- 下のQRコードから事前参加登録をお願いします。（登録なしでも参加可）

参加登録はこちらから



- 誰でも参加可。演奏経験がまったくなくても大丈夫です。現代音楽に触れたことのない方こそぜひ。
- 活動に参加せず、聴くだけ、見るだけの参加も歓迎します（参加費はかかりません）。
- 子どもの参加も大歓迎です。家族や友達同士で気軽にご参加ください。

問合せ先：  
堀内 彩虹（早稲田大学文学学術院）  
horiuchi.ayako@aoni.waseda.jp

## ワークショップ紹介

このワークショップは2019年から始まり、東京と名古屋を中心に継続的に開催されています。子どもから大人までさまざまな人が参加しています。

あなたはどんな時に、音楽を理解した、音楽に近づいたと感じますか？

本ワークショップでは、作曲や音楽史に関する知識のような音楽の専門知を通じて作品を分析することはしません。ちょっと難しいと思われがちな現代音楽に、参加者もつ発声の身体知でアクセスしようという試みです。

特別な訓練を受けていなくても、生まれてから付き合いしてきた身体には声を出すための高度なスキルが備わっています。

みなさんが日常生活で発音を操作して自由におしゃべりしたり声色を変えて感情を表現したりできることがその証です。

その身体スキルを通じて音楽に接近してみませんか。

自分もつ身体知を通じて音楽を聴くことで、他の人とは異なる位置で音楽が分節化されたり、異なる意味が音に与えられたりするかもしれません。

誰かに決められた音楽との付き合い方ではなく、自分の身体に忠実な付き合い方を、自分だけに〈きこえる〉音楽のあり方を、一緒に探りたいと思っています。

音楽に接近する新たな方法を一緒に探ってみませんか。

\*現代音楽とは、広義には20世紀以降の西洋芸術音楽を指す。調性や拍感がない、奏法が特殊、「楽音」以外の音も採り入れるなど、表現が多様化・複雑化している。ゆえに、演奏するのも聴くのも難しいと思われがち。



## 講師プロフィール

パフォーマンスおよび体験指導

藤田 果玲 FUJITA Karera (声楽家、ソプラノ)

愛知県立明和高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部音楽科声楽専攻を卒業。同大学選抜卒業演奏会出演。2016年より渡独。ハンブルク音楽院を経てドイツ国立シュトゥットガルト音楽演劇大学修士課程現代音楽科、同大学修士課程リート科を最優秀の成績で卒業。第16回大阪国際コンクール歌曲コースAge-Uエスポワール賞、第7回東京国際声楽コンクール奨励賞受賞。愛知県立芸術大学主催芸術講座レクチャーコンサート、プレヒト・詩と音楽の夕べに出演。Gedok Stuttgart後援、歌曲の夕べ“Wie... ist die Liebe?”にてソロプログラムを演奏し好評を得る。自身企画コンサート、Was ist Neue Musik!? (現代音楽って何!?)では愛知と東京において公演をし、以降現代音楽のワークショップも精力的に取り組む。

Schauburg劇場ミュンヘンにてGerhard Stäbler作曲Musiktheater SimonにおいてMia役でデビュー、ドイツでの初演を務める。国際作曲コンクールUnique Formsでファイナリストの作品の初演を務めた他、Hang Su作曲、政治的音楽劇 THE EATING SHOW の初演を務めるなど、ヨーロッパにて多くの初演を務める。また、aspekte SALZBURGに出演するなど、現代音楽フェスティバルにも多数出演。

これまでに江塚由佳子、森川栄子、タンヤ・アスペルマイヤー、アンゲリカ・ルッツ、コーネリス・ヴィトヘフト、ナタリー・カールの各氏に師事。

企画、モデレーター

堀内 彩虹 HORIUCHI Ayako (早稲田大学文学学術院)

研究者(専門:美学、聴覚論、音楽学、ヴォイス・スタディーズ)。

洗足学園音楽大学声楽専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部音楽学専攻卒業。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻(表象文化論コース)修士課程および博士課程修了。博士(学術)。2019-2020年、米国のカリフォルニア大学バークレー校哲学部に客員研究員。2017年、第4回柴田南雄音楽評論賞「本賞」受賞。現在、早稲田大学文学学術院 次席研究員/研究院講師、日本学術振興会特別研究員PD。著書に『博士になったらどう生きる?78名が語るキャリアパス』(分担執筆、2017)、『貞志康一と音楽の近代—ベルリン・フィルを指揮した日本人』(共著、2011)。論考に「〈自己〉を聴く技法としての演奏行為」『ユリイカ 総特集=坂本龍一 1952-2023』

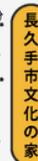
(2023)「聴診的聴取—他者の歌声を聴く行為における音の空間性と身体—」『美学』253号(2018)、「音楽の共有(不)可能性—感覚に忠実な聴取がもたらす新時代のコミュニケーション論」『音楽現代』11月号(2017)、「歌う声をくきく」行為—歌う身体と聴く身体が交叉するところ」『表象』10号(2016)など。



〒480-1166 愛知県長久手市野田農 201 番地  
お問合せ: 0561-61-3411

地下鉄 藤が丘 駅	リコモ はなみずき通駅	徒歩7分
名鉄バス 長久手文化の家北	徒歩4分	
愛知医科大学病院行き (4番乗り場)	愛野団地行き (5番乗り場)	
名古屋 長久手 IC	車10分	

※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。



長久手市文化の家 official  
@bunkanoie

公式 Web サイト

